



# 一歩 みんなのIPPO

令和2年11月 9日(月)  
四季が丘小学校 研究推進便り

10月29日(木)に、広島県教育委員会の藤本哲平指導主事、廿日市市教育委員会の金本旭史指導主事をお迎えし、学力フォローアップ校事業第5回授業研究会を行いました。

今回は、3度目のブラッシュアップを行った第4学年の算数科「面積」の研究授業には、つまずきの要因分析をもとに講じた課題の大きな児童への具体的な支援と手立てがちりばめられ、あたたかい雰囲気の中で気になるあの子をはじめ、学級の子供たちが主体的な学びを実現することができていました。



## 白根 悦子先生の授業からの学び ～授業改善に向けて取り組むこと～

(若手の先生より)

- ・白根先生の授業を参観して、手立てや見通しをここまですると子どもたちは自分の考えを持って、意欲的に頑張れるのだと感じました。気になるあの子のために何ができるのか、単元を通してもう一度考えてみようと思いました。
- ・主体的に学ぶ児童の姿を目指して、日常の事象から課題を見つけることができるような見方や見つけた課題を解決するために既習事項を使えるように日々の授業を工夫していきたいと思えます。

(中堅の先生より)

- ・あたたかい学級の雰囲気、教師の人柄が何よりのUDだという視点を曲げず、先生たちと連携を取り続けます。
- ・いつも感動&尊敬する細かい手立て…。私に足りない部分です…。しっかり活用させてもらったり教えてもらったりして、取り入れていきたいです。藤本先生のお話を聞いて、補助線の大切さもすごくよくわかりました。これからの面積の学習に向けて意識づけしていきたいです。

(ベテランの先生より)

- ・3年生までの既習事項が今後の土台になるので、具体的イメージ、実生活での活用、動作化合言葉等を利用して見につけさせる。
- ・特別支援学級でも学級づくりと授業づくりの大切さを再認識したのでめざしていきたいです。

## 学び続ける児童の姿とは？



藤本指導主事は指導助言の中で、「学び続ける児童の姿とはどのような姿なのか。」という問いをなげかけてくださいました。藤本指導主事が例示された内容と先生方が考えた内容は以下の通りです。

主体的・粘り強い・楽しい・調べる  
学びが役に立つ・問いをもつ  
日常とつなげる・既習事項とつなげる



- ・自分から課題を発見して解決していく
- ・課題を解決するために既習事項を使う
- ・あきらめない，楽しく学べる，活用できる
- ・「わかった！」キラキラを積み重ねていく
- ・あきらめずに課題解決に取り組む
- ・わかりたい「はてな」⇒達成感をもつ⇒もっとわかりたい
- ・学んだことをもとに次の課題を見つけたりチャレンジしたりする
- ・課題解決に向けて，既習事項の引き出しを手がかりに主体的に取り組む
- ・生涯にわたって主体的に問題を見つけ，解決に向かって学ぼうとする
- ・次の問題を欲しがらる
- ・自分のできること，できないところを受け入れてやり方を学び直し，次に進もうとがんばる
- ・授業と家庭学習，今日の授業と明日の授業，学びと日常をつなげる

研究主題にある「学び続ける児童」の姿を具体で考えることにより，日々の授業を振り返ることもできたように思います。

白根先生の研究授業の直後，何人かの子供にインタビューをしたところ，とても嬉しそうに「楽しかった～！」と答えてくれました。やはり学びには「楽しさ」があることが大前提です。気になるあの子が楽しさを味わえるための手立てや支援を白根先生のように楽しみながら考え，取り入れていきたいですね。



## 公開研究会が近づいてきました！

さまざまな準備が計画的に進んでいます。

当日は，子どもたちと授業者と参観者の笑顔がたくさん見られる研究会になるよう，教職員全体で取り組んでいきましょう。

